

平成 30 年度 第8回定時総会について

1. 開催日時・場所

日時（案）：3月6日（水）13:30～17:00

場所（案）：定時総会 定員 200 人程度

意見交換会 1 定員 60～100 人程度

意見交換会 2 定員 60～100 人程度

2. 総会議事（予定）

（1）決議事項（未定）

（2）2018 年度 最優良取組事例（環境大臣賞及び特別賞） 発表・表彰

（3）報告事項：平成 30 年度 21 世紀金融行動原則活動報告

①運営委員会の活動

②平成 30 年度取組事例

③ワーキンググループ（WG）の活動

3. 総会後のイベントの課題

- 平成 28・29 年度同様、テーマ別意見交換会の開催を提案。
- ただし、「地方創生テーブル」「ESG 投資テーブル」に分けて実施していたが、「いつまで直接金融と間接金融を分けて議論するのか」との意見もあった。
- 昨年度と同様の「意見交換会形式で二つ」にするか、または大きな「シンポジウム形式一つ」に戻すか。
- 参加者
昨年度は「地方創生」は署名機関に限定した。今年は一般からの受付はどうするか。
- テーマをどうするか。

<参考> 過去のシンポジウム及びテーマ別意見交換会 開催実績

○シンポジウム

(H24) 基調講演「持続可能な開発のための世界経済人会議」

WBCSD マネージング・ディレクター イマン・ストウラテヌス氏

挨拶 国連環境計画金融イニシアティブ 特別顧問 末吉 竹二郎氏

パネルディスカッション「持続可能な社会／低炭素社会の創出のためのファイナンス」

(H25) 基調講演「地域の未来の選択肢～小説『プラチナタウン』の目指すもの」

小説家 榆 周平氏

基調講演「再生可能エネルギービジネスによる地域興し～グリーンファンドの未来への投資～」

UNEP FI 特別顧問 末吉 竹二郎氏

パネルディスカッション「金融の地域の協働による持続可能な社会の実現に向けて」

(H26) 基調講演「足元の試み（エコ賃貸）から見た金融への期待」

慶應義塾大学大学院・環境情報学部 教授／元環境省事務次官 小林 光氏

パネルディスカッション「21 世紀金融行動原則の可能性～ワーキンググループ活動の視点から考える～」

(H27) 基調講演「コンパクトシティ政策を中心とした包括的アプローチによる持続可能な都市・地域活性化モデルケース」

富山市長 森 雅志 氏

基調講演「『地方創生』、その実現に必要な『環境』に配慮した循環型社会構築と『金融機関』への期待」

(公社)日本ニュービジネス協議会連合会 会長/NSG グループ代表 池田弘氏

○テーマ別意見交換会

「地方創生テーブル」

(H28) 「地方創生と金融機関 ～持続可能なビジネスモデルの手掛かりを探る～」

(H29) 「地域金融機関の ESG への取組 ～持続可能なビジネスモデルの手がかりを探る～」

「ESG 投資テーブル」

(H28) 「長期的な企業価値に結びつく目的を持った対話（エンゲージメント）とは何か」

(H29) 「企業価値に結びつく情報開示とは何か～改善した統合報告書、良い統合報告書を参考に～」

以 上